

# 平成21年度 事業報告書

自 平成21年 4 月 1 日  
至 平成22年 3 月 31 日



財団法人 **ひょうご環境創造協会**  
Hyogo Environmental Advancement Association

## 目 次

〔Ⅰ〕 概 要	1
〔Ⅱ〕 理事会の開催	2
〔Ⅲ〕 環境保全創造事業	4
ひょうご環境創造推進委員会の運営	4
環境学習・教育の推進	4
地球温暖化防止活動の推進	10
循環型社会形成推進事業	19
国際協力の推進	20
環境学習施設の運営	21
〔Ⅳ〕 環境調査・測定分析事業	24
〔Ⅴ〕 兵庫県環境研究センター事業	26
〔Ⅵ〕 経営管理	32
〔Ⅶ〕 環境管理	32
〔Ⅷ〕 旧兵庫県環境クリエイトセンターの主な事業	33
別表1－分析測定件数	41

# 平成21年度 事業報告

## 〔I〕概要

自然と共生した持続可能な循環型社会の実現に向け、経済システムやライフスタイルの変革を現実のものとして行くためには、社会の構成員である県民、事業者、行政の全ての者が環境問題について関心を高め、現状を深く認識し、日常生活や事業活動から生じる環境負荷を減らすなど、個人、地域レベルで環境に配慮した具体的な行動が求められている。

この課題に対応し、「参画と協働」の理念に基づき、「環境創造活動を進めるための中間支援機能」と「地球温暖化防止活動推進センター機能」の2つの機能を基本に、自発的な環境創造活動を誘発する「環境学習・教育の推進」及び低炭素社会の実現を目指した「地球温暖化防止活動の推進」などを柱として重点的に事業展開を行った。

また、兵庫県が策定した「新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）」に基づき、新たに「兵庫県環境研究センター」を本協会に設置するとともに、連携・協力を図り、高度な調査研究及び試験分析にも努めた。

旧兵庫県環境クリエイトセンターにおいては、「循環型社会の構築」に向け、資源の有効活用、廃棄物の減量化、再資源化の促進による市町等の廃棄物行政に対する支援、廃棄物の適正処理及びリサイクル等に関する普及啓発を行うとともに、但馬最終処分場の運営、大阪湾フェニックス事業の廃棄物受入業務等についても的確・適正に実施した。

さらに、施設の老朽化に伴い、本年度で終了する溶融処理事業については、その後継事業として、市町のごみ焼却灰等をセメント原料へと再資源化する「セメントリサイクル事業」を平成22年度から実施するため、その施設の建設に着手するとともに、新たなリサイクルビジネスの事業化の検討を行う「ひょうごエコタウン推進会議」への支援など、廃棄物処理に係る多様な取組を行った。

こうした両団体の取組を踏まえ、地球規模から地域レベルまで幅広い環境問題に対し、一元的・総合的な取り組みと効率的な運営を図るために、平成22年4月1日を目途に、(財)ひょうご環境創造協会と(財)兵庫県環境クリエイトセンターの統合を進めた。

この統合に当たっては、「環境適合型社会」の形成を目指し、環境に関する県民、事業者の実践活動の促進及び行政との連携・調整、環境に関する調査・研究・分析・測定、廃棄物等の適正で広域的・効率的な減量、再生及び処分を行うなど、環境の保全と創造に資することを目的に多様で効果的な事業を展開するとともに、一層その統合の効果を発揮させるため、

- ①地球温暖化防止、自然エネルギー、生物多様性の保全、廃棄物処理等地球規模から地域レベルまでの幅広い環境問題に対して、一元的・総合的に取組むこと。

②事業範囲が広がり、柔軟な人事配置及び多様な人材の活用が可能となる。また、管理部門における機能の充実強化を図ること。

③事務所経費や、総務機能の一元化による管理経費の削減を図ること。

④廃棄物の発生から最終処分まで、循環型社会の形成に向けた取り組みや JICA 研修の受入等国際協力事業などの一元化により効率化を図ること。

等々その実現に向け検討を行うとともに、さらに、県民、NGO・NPO、企業、行政と共に次世代に継承する「環境適合型社会」の実現を目指し、公益性を追求し、より良い環境を創造する役割を担っていくために、多様で、効果的な事業運営を進めることとした。

#### 【参 考】 <統合までの経緯>

- 平成21年12月11日 合併契約書及び新寄附行為（案）の承認
- 平成21年12月21日 合併認可申請
- 平成21年12月25日 兵庫県知事の認可
- 平成22年 1月 7日 官報へ合併公告
- 平成22年 1月15日 催告通知の実施
- 平成22年 4月 1日 統合

#### 〔Ⅱ〕理事会の開催状況

- (1)第114回理事会〔日 時〕 平成21年5月29日(金) 午後3時30分  
〔場 所〕 パレス神戸 2階大会議室
- 第220号議案 平成20年度事業報告及び収支決算承認の件
  - 第221号議案 役員 の 辞任承認及び選任の件
- (2)第115回理事会〔日 時〕 平成21年11月26日(木) 午後3時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー
- 第222号議案 平成21年度事業計画の変更及び収支予算を補正する件
  - 第223号議案 財団法人ひょうご環境創造協会と財団法人兵庫県環境クリエイトセンターの統合について
- (3)第116回理事会〔日 時〕 平成21年12月11日(金) 午後2時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー
- 第224号議案 役員 の 辞任承認及び選任を求める件
  - 第225号議案 合併契約の承認の件
  - 第226号議案 寄付行為（案）承認の件
- (4)第117回理事会〔日 時〕 平成22年3月26日(金) 午後1時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー

- 第227号議案 平成21年度事業計画の変更及び収支予算を補正する件
- 第228号議案 平成22年度事業計画及び収支予算決定の件
- 第229号議案 役員選任の件

【旧(財)兵庫県環境クリエイトセンター】

- (1)第 66 回理事会〔日 時〕 平成21年6月24日(水) 午後3時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー  
○第1号議案 役員任期途中辞任及び役員補充選任について  
○第2号議案 平成20年度事業報告について  
○第3号議案 平成20年度決算報告について
- (2)第 67 回理事会〔日 時〕 平成21年9月15日(火) (持ち回り)  
○第1号議案 会長の推薦について
- (3)第 68 回理事会〔日 時〕 平成21年11月26日(木) 午後1時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー  
○第1号議案 役員任期途中辞任及び役員補充選任の件  
○第2号議案 財団法人ひょうご環境創造協会と財団法人兵庫県環境クリエイトセンターの統合について  
○第3号議案 セメントリサイクル事業の実施について
- (4)第 69 回理事会〔日 時〕 平成21年12月11日(金) 午後1時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー  
○第1号議案 役員辞任承認及び選任の件  
○第2号議案 役員互選の件  
○第3号議案 合併契約の承認の件  
○第4号議案 寄附行為(案)の承認の件
- (5)第 70 回理事会〔日 時〕 平成22年3月26日(金) 午前10時30分  
〔場 所〕 ラッセホール 地下1階リリー  
○第1号議案 平成21年度事業計画の変更及び収支予算の補正する件

### 〔Ⅲ〕環境保全創造事業

#### [ひょうご環境創造推進委員会の運営]

ひょうごの環境保全と創造に関する事業を、社会を構成する全ての者の参画と協働により企画・立案し推進していくため、県民・団体、事業者・学識経験者・行政の代表者で構成する「ひょうご環境創造推進委員会」等を開催し、事業の内容について検討を行った。

- ・推進委員会：平成21年12月22日(火)
- ・企画委員会：平成21年12月14日(月)

#### [環境学習・教育の推進]

##### 1. 体験型環境学習の推進

###### (1) 次世代への環境学習

###### ① 脱温暖化こども体験学習推進事業

ひょうご環境体験館の利活用を目的として、小中学生を対象とした温暖化の体験型学習に対して、教材や講師料、バス代等の支援を行った。

- ・利用台数 15台
- ・体験学習活動助成 2件

###### ② こども自然体験学習事業

###### ア 夏休みこどもエコツアーの開催

[日程] 平成21年7月30日(木) (参加38名)

[場所] 佐用町昆虫館・ひょうご環境体験館

[内容] ①昆虫について学び、観察する

②水辺の生物観察

[講師] 兵庫県立大学 三橋弘宗 氏・NPO 法人こどもとむしの会 近藤伸一 氏

###### イ 六甲山の生物多様性を学ぼう

[日程] 平成21年10月25日(日) (参加19名)

[場所] 六甲山自然環境センター

[内容] ①六甲山の生物多様性と温暖化による影響についての講義

②紅葉谷ブナ林帯で温暖化の影響についての実地学習

[講師] 兵庫県立大学教授 服部保 氏・(財)ひょうご環境創造協会 栃本大介

###### ③ 環境学習プログラム・教材の開発

###### ア ひょうご環境体験館における基本プログラムの開発

###### (ア) プログラム検討委員会の設置・開催

環境学習に関する専門家による委員会を設置し、参加体験型の環境学習プログ

ラム開発についての基本的な考え方や進め方等について検討を行った。

・プログラム検討委員会：平成22年2月11日（木）

(イ) ワーキング部会の設置・開催

◆地球温暖化防止等の体験型プログラムの開発

ライフステージに応じた「感じる－知る－行動する」効果的な環境学習を実施するため、地球温暖化防止等の参加体験型のプログラム・教材の開発を行った。

・ワーキング部会：平成21年5月15日（金）、平成21年7月3日（金）

(ウ) 自然探索にかかる体験型プログラムの開発

エコハウスサポーターが整備を進めている体験館周辺整備と連携して、体験館周辺の自然を活用した自然体験型プログラムを随時開発した。

イ 環境教育カリキュラム推進プロジェクト

幼少期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、この時期の教育を担う資質の高い教員養成が今日の社会から強く求められている。

人を育て、そして、発育とのつながりを大切にした環境教育カリキュラムを開発した。

④ エコチェックによる省エネ活動の推進（こどもエコチェック活動の促進）

こどもたちが地球温暖化問題に関心を持つために、「こどもエコチェック手帳（こども版環境家計簿）」を配布した。

・配布部数 2,263部

⑤ ひょうごエコフェスティバルにおけるこども向けイベントの開催

ひょうご環境体験館・環境研究センターが、ひょうごエコフェスティバル2009会場において、子どもを対象とした体験工作・学習を企画・出展した。

⑥ こどもエコクラブ兵庫県事務局の運営

環境省事業である「こどもエコクラブ」兵庫県事務局を県から委任を受け運営した。

⑦ 浜辺の環境学習「さがして、さわって、学ばいきものみつけ」（阪神南県民局委託）

海浜での生き物観察会を実施し、子供達に「浜辺」やそこに住む「生き物」とのふれあいの機会を提供することによって、海、自然の大切さを考えるきっかけをつくる事業を実施した。

第1回 [日程] 平成21年7月20日(月・祝) (参加49名)

[場所] 甲子園浜 (西宮市)

[内容] ①海浜の生き物観察

②海浜グリーン作戦

[講師] 神戸大学 川井浩史氏・西宮自然保護協会 三宅隆三氏

第2回 [日程] 平成21年8月22日(土) (参加24名)

[場所] 潮芦屋浜 (芦屋市)

[内容] 海浜の生き物観察

- [講師] 西宮自然保護協会 三宅隆三 氏
- 第3回 [日程] 平成21年8月23日(日) (参加49名)
- [場所] 御前浜 (西宮市)
- [内容] ①海浜の生き物観察  
②海浜グリーン作戦
- [講師] 大阪市立大学 西谷敬 氏

⑧ 「いきものみつけ」の開催 (環境省委託)

いきものを通じた市民参加型の温暖化影響調査を通じて、啓発活動を行うとともに、気候変動の影響の兆候をさぐる親子生物観察会を4地域で開催した。

ア 阪神地域

浜辺の環境学習「さがして、さわって、学ばいいきものみつけ」とタイアップして実施。

- 第1回 [場所] 甲子園浜 (西宮市)
- 第2回 [場所] 潮芦屋浜 (芦屋市)
- 第3回 [場所] 御前浜 (西宮市)

イ 西播磨地域

- [日程] 平成21年7月30日(木) (参加36名)
- [場所] 佐用町昆虫館・ひょうご環境体験館
- [講師] 兵庫県立大学 三橋弘宗 氏・NPO 法人こどもとむしの会 近藤伸一 氏

ウ 丹波地域

- [日程] 平成21年8月23日(日) (参加25名)
- [場所] 丹波の森公園及び近隣の水辺
- [講師] 県立伊丹北高等学校 谷本卓也 氏

エ 但馬地域

- [日程] 平成21年11月14日(土) (参加50名)
- [場所] 但馬ドーム (エコフェスティバルで実施)
- [講師] (財)ひょうご環境創造協会 今西将行

(2) 一般県民への環境学習

① エコツーリズムバス運行支援事業 (県補助)

県内の環境関連施設や自然環境などで環境学習をする機会を提供し、環境保全意識を高め、実践活動への参加の契機とすることを目的として、バスの借り上げ経費の一部の助成を行った。

・エコバスの利用状況

一般分 155件 157台、学校分 51件 77台

② ひょうご出前環境教室の開催

県内の幼稚園・保育園、小中高等学校、大学、地域団体、企業、市民グループ等に対して、当協会が公募し決定した講座の中から、団体が希望する講座を実施するための講師を派遣した。



・派遣回数 130回

③ ミニフォーラムの開催

環境問題に対する理解と環境保全活動の輪を広げるために、講師による講演と参加者との意見交換により問題解決への取組み等を探るミニフォーラムを開催した。

・開催回数 4回（延べ110名参加）

・実施場所 兵庫県立人と自然の博物館、ひょうご環境体験館、丹波の森公苑及び近隣の水辺、六甲山自然保護センター

2 環境学習の支援

(1) 団体・NPO等への相談窓口の設置

① 環境学習・教育コーディネーターによる相談事業（県補助）

ひょうごエコプラザの環境学習コーディネーターが、環境学習に関する相談に応じ、要望や対象に合った学習方法やプログラム、講師の斡旋、連絡調整等、学習に関するコーディネートを行った。

・相談件数 4,137件

(2) 情報収集・提供

① 「ひょうごの環境学習ひろば」等のインターネットによる情報提供

環境保全創造事業の紹介、イベント開催情報、NPOや事業者の環境活動に役立つ情報等を提供した。

・ホームページアクセス件数 502,308件

② 協会情報誌の発行等

情報誌「エコひょうご」を年4回発行した（6月、9月、12月、3月）。年間テーマを「生物多様性“参画と協働”による環境の保全と創造」とし、関連する情報の提供を行った。

また、県が編集する「環境白書」等の発行、販売を行った。

・発行部数 各号約8,000部

③ エコプラザE-mail通信

各団体が実施する環境関係のイベント等に関する情報や協会からのお知らせ等を迅速に提供するためE-mail通信を発信した。

・週1回発信 登録者数2,556名

④ 啓発資材提供と活動のPR

啓発冊子や資材の作成と活用、広報媒体による啓発を県、市町、NPOと連携して行った。（環境学習パネル、省エネナビ、ワットアワーメーター等）

・貸出件数201件

⑤ 環境関連書籍等の販売

環境白書や条例集、レッドデータブック等の販売を行った。

- ・「平成20年度版 兵庫県環境白書」 36冊
- ・「環境の保全と創造に関する条例関係規定集」 2冊
- ・「改訂・兵庫の貴重な自然～兵庫県版レッドデータブック2003～」 15冊

(3) 人材育成・登録・派遣

① こども環境学習指導者研修

環境学習・教育に携わる地球温暖化防止活動推進員やひょうご環境体験館サポーターを対象として、効果的な環境学習の進め方について、事例体験や事例紹介を通じて学ぶ研修を実施した。

[日時] 平成21年12月21日(月)・22日(火) 一泊二日 (参加26名)

[場所] 三洋電機研修センター (神戸市垂水区)

[講師] 川島憲志 氏 (フリーランス)

岩木啓子 氏 (ライフデザイン研究所 FLAP)

志賀誠治 氏 (人間科学研究所)

酒井立夫 氏 (広島ホームテレビ「地球派宣言」チーフプロデューサー)

② 環境学習サポーター登録・紹介

当協会の人材養成講座・研修会の受講者や兵庫県地球温暖化防止活動推進員・協力員等から希望者を「環境学習サポーター」として登録し、家庭や職場、学校など様々な場所で行われる環境学習の講師やサポーターとして紹介するなどの支援を行った。

・環境学習サポーター登録者数 365名

・環境学習サポーター紹介件数 40件

③ ナチュラルウオッチャー事業 (自然環境保全再生参画推進事業・県補助)

「ナチュラルウオッチャー」及び「ナチュラルウオッチャーリーダー」の登録をするとともに、情報誌「自然とともに」を年1回発行した。

また、ナチュラルウオッチャーリーダーを対象とした「懇話会」を開催した。

・ナチュラルウオッチャー登録者数 11,189名

・ナチュラルウオッチャーリーダー登録数 157名

④ 環境体験事業 (グリーンスクール) の支援

県教育委員会に設置された環境体験神戸地域支援委員会に、当協会の環境学習コーディネーターを委員として派遣している。

(4) 活動のネットワークの推進

① NGO・NPO 交流の広場の開催

生物多様性の保全と持続可能な利用や地球温暖化対策についての情報の共有を行う

とともに、NGO・NPOの今後の活動の方向性や提言をとりまとめ、COP10・COP15への市民の立場から提言につなげるシンポジウムを開催した。

[日程] 平成21年10月11日(日) (参加226名)

[場所] 甲南大学岡本キャンパス 1・3号館3階

[企画運営] 「環境NGO・NPO Hyogo対話」企画運営委員会

[内容] 基調講演①

国際自然保護連合(IUCN)チーフサイエンティスト ジェフ・マクリーナー 氏

「気候変動と2010年生物多様性目標に向けた市民、NGO・NPO等の役割」

基調講演②

特定非営利活動法人コウノトリ市民研究所代表理事 上田尚志 氏

「生物多様性の保全と市民活動ーコウノトリの野生復帰を事例として」

ポスターセッション (25団体)

分科会A: 気候変動による生物多様性に対する影響

分科会B: 生物多様性の保全と温暖化への対応策

### 3 実践活動の促進

#### (1) 各主体への活動支援

##### ① ひょうご環境保全創造活動支援事業

自主的な環境保全創造活動の一層の活性化を図るため、活動団体に対し「ひょうご環境保全創造活動助成制度」により活動資金の助成を行った。

- ・スタートアップ支援助成件数 4件
- ・環境保全創造事業助成件数 23件
- ・環境パートナーシップ事業助成件数 6件

##### ② 森林再生支援事業への支援(コベルコ環境創造基金助成)

上山高原の自然の循環のしくみや自然と共生してきた麓の集落に根づく知恵を学び、活かすための「秋のエコフェスタ」の開催など、多彩な交流・実践プログラムの実施を支援した。

### 4 普及啓発活動

#### (1) 地球と共生・環境の集い2009の開催

県民・事業者・行政等幅広い参加者を対象として、環境に配慮した行動の実践を啓発する「地球と共生・環境の集い2009」を兵庫県と共催により実施した。

[日程] 平成21年6月5日(木) (参加320名)

[場所] 兵庫県公館

[内容] 講演 鈴木 胖 氏(兵庫県立大学副学長)

松尾雄介 氏(IGES 関西研究センター)

環境保全功労者知事表彰(個人・団体)、

兵庫県環境にやさしい事業者賞・知事表彰（事業所）  
環境パネル展示等

(2) ひょうごエコフェスティバル2009への参加

県民のライフスタイル変革のきっかけとなるよう、事業活動の紹介や環境保全を啓発するイベント及び展示を行った。

[日程] 平成21年11月14日(土)、15日(日) (参加者数 14,000人)

[場所] 但馬ドーム隣接広場(豊岡市)

[内容] 「(財)ひょうご環境創造協会コーナー」(総合案内・交流サロン)

「太陽光発電コーナー」(太陽光発電相談指導センターの出張サービス)

「エコ住宅イベントコーナー」(組立デモンストレーション)

「ひょうご環境体験館コーナー」(体験型環境学習の紹介)

「環境研究センターコーナー」(環境研究センターで行っている分析の紹介)

「いきものみつけイベントコーナー」

(身近な自然観察、生物多様性などの体験学習)

「(財)ひょうご環境創造協会技術部大気課コーナー」(大気環境測定の紹介)

(3) 啓発資材の提供と活動のPR

地球温暖化防止等を広く県民にアピールするため、啓発冊子等を作成するとともに、地球温暖化防止に関する資材やパネルなどの貸し出しなどを行った。

5 他団体との交流・連携

(1) 共催、協賛事業等の実施

環境問題の効果的解決のため、県民団体、環境団体、事業者、行政等との協働による講演会やセミナー、イベント等の事業を実施した。

・共催事業 1件

・後援事業 16件

(2) 協会会員の募集

ホームページによる広報、各種イベント参加者への会員募集リーフレット配布、来客者等に対する勧誘などにより、当協会会員募集を行った。

・事業所会員 210、市町会員 41、団体会員 105、県民会員 966 計1,322

[地球温暖化防止活動の推進]

1 実践活動の促進・推進

(1) 地球温暖化防止活動「ストップ温暖化一村一品・知恵の環づくり兵庫県大会200

9～つなごう！エコの環プロジェクト～」の開催（環境省委託）

県内の各地での創意工夫を活かした地球温暖化防止の取組みを掘り起こし、その取組みの環を広げ、地域における一層の温暖化対策の促進を図るため、地球温暖化防止の取組みの募集を行い、発表会を開催した。最優秀賞を選出し、全国大会に派遣した。

① 発表会

[日程] 平成21年11月3日(火) (参加150名)

[場所] 兵庫県民会館 パルテホール

② 全国大会

[日程] 平成22年2月13日(土)・14日(日)

[場所] ニューピアホール

(2) エコチェック実践活動の推進

家庭からのCO2削減を促進するため、エコチェックカレンダーの作成・配布を行い、県民によるCO2削減の取組みを提唱した。また、「エコチェック会員からの紹介キャンペーン」等を実施した。

・作成部数 11,000部

・報告者数 974名 (8.9%)

(3) エコ住宅の普及促進（全国地球温暖化防止活動推進センター委託）

家庭からのCO2排出量を削減するため、地球温暖化防止活動推進員・住宅関連団体・行政等により構成された「ひょうごエコ住宅普及促進地域協議会」と連携し、環境フェアへの出展などにより、普及啓発を図った。

① ひょうごエコ住宅普及促進地域協議会の開催

地球温暖化防止活動推進員・住宅関連団体・行政等が一体となってエコ住宅を普及促進するため、「ひょうごエコ住宅普及促進地域協議会」を開催した。

[協議会開催状況]

第1回 平成21年9月15日(火) すまいるネット セミナールーム

第2回 平成22年2月19日(金) すまいるネット セミナールーム

② 一般消費者を対象としたセミナー「エコ住宅セミナー」の開催（参加25名）

[日程] 平成21年11月27日(金)

[場所] すまいるネット セミナールーム

[内容]・省エネリフォームを考えよう

(株)伊藤建設コンサルタント 環境プランナー 伊藤裕啓氏

・我が家の省エネ度 うちエコ診断、内窓工事で簡単省エネ

太陽光発電相談センター 相談指導員 小坂勝年氏

・省エネリフォームの補助金・減税制度

関西住環境フォーラム21 事務局長 小倉美江氏

③ 工務店・建築士等を対象とした「エコ住宅リフォーム研修会」の開催（参加106名）

[日程] 平成 21年 10 月 21 日(水)

[場所] 兵庫県中央労働センター 大ホール

[内容]・講演

「既存住宅の省エネリフォームについて」

独立行政法人建築研究所(茨城県つくば市) 上席研究員 桑沢保夫 氏

「省エネリフォームの普及」

日置建設(株) 代表取締役 日置尚文 氏

「省エネリフォーム周辺知識と長期優良住宅 履歴整備」

NPO 法人住宅長期保証支援センター 専務理事 鈴森素子 氏

「長期優良住宅関連施策等について」

兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課住宅総合計画係

#### ④ エコ住宅の体験展示

但馬地方で開催された「ひょうごエコフェスティバル 2009」において、参加者体験によるハーフサイズの家棟上げと実施展示を行い、エコ住宅クイズを通じて冬の住宅から逃げる熱についての学習とエコ住宅リフォームについての情報提供を行った。

[日程] 平成21年11月14日(土)・15日(日)

[場所] 県立但馬ドーム周辺(豊岡市日高町)

#### (4) エコポイントによる環境行動促進事業

県民の温室効果ガス削減行動に対して、経済的なメリットを与え、伸びの著しい家庭部門からの温室効果ガスを削減することを目的に、温室効果ガスの削減に取り組んだ団体等にエコポイント証書等を発行・付与し還元レートに基づき、証書に相当するポイント数から金額を付与した。

##### 【エコポイント対象活動と実績】

	参加企業	発行ポイント数	付与ポイント数	ポイント単価(円)	付与額(円)	CO2削減量(ton)
森づくり 森林管理(植林、間伐)	1 企業 2 団体	75,000	75,000	5	375,000	75
廃食油の回収		29,900	29,900	1	29,900	7.6

【CO2削減総量】 (H21) 82.6

(H20) 190

#### (5) CO2削減相殺(ひょうごカーボン・オフセット)事業の実施(一部県委託)

##### ① 「ひょうごカーボン・オフセット」の推進

県内集客施設の運営やイベント・行事において、募金によるカーボン・オフセットを実施している。募金は、「ひょうごグリーンエネルギー基金」に寄付され、太陽光発電などのグリーンエネルギー発電施設の建設や、植林・森林整備等の「CO2削減プロジェクト」に活用した。

[募金状況] 47件、230,049円

② うちエコ診断システム開発

県民が日常生活で発生した二酸化炭素(CO2)をパソコンを使って、カーボンオフセットするシステム開発をするとともに、エコチェックカレンダーやうちエコ診断とともにWEB上で統合して、県民が活用しやすいシステムを構築した。

③ 広報費補助制度

団体等がイベント等でひょうごカーボン・オフセットを活用したポスター・チラシを作成した時に、その広報費の1/2を助成した。

[補助限度額] 10万円/団体

(6) 事業所の取り組みの推進

① 地域別循環型社会づくり推進会議支援事業

ごみの減量化、再利用、再資源化等に配慮した生活・事業活動を推進し、各地域の「循環型社会づくり推進会議」においてマイバッグ運動の推進を唱えとともに、「淡路地域循環型社会づくり推進会議」ほか2団体の実施活動に対し助成を行った。

② エコアクション21の導入促進と地域事務局の運営

持続可能な社会を構築するため、環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21(EA21)」の地域事務局において、EA21の判定業務等を行った。

ア 運営委員会の開催(1回開催)

イ 判定委員会の開催(16回開催:88件審査)

ウ EA21普及啓発セミナーの開催(2回開催:88社参加)

エ EA21自治体イニシャティブ・プログラムの実施

加西市内の事業所を対象に個別相談など、加西市と連携して、EA21認証取得支援事業を行った。

[事業者数] 7事業者

オ EA21関係企業グリーン化プログラム

中小企業者への環境保全の取組を促進するため、中核となる企業、業界団体と連携して関係する企業に対して個別相談などEA21認証取得支援事業を行った。

[事業者数] 44事業者

③ 兵庫県に対する環境監査の実施

兵庫県が運用する「兵庫県環境マネジメントシステム」の審査のため、兵庫県本庁舎及び11地方機関において環境監査を実施した。

④ 先進事業所見学会の開催

協会会員の環境に関する知識・技術の向上のため、兵庫県環境保全管理者協会と共催で先進事業所の見学研修会を開催した。

[日程] 平成22年2月25日(木) (参加52名)

[場所] 川崎重工業(株)兵庫工場／福崎町浄化センター／キリンビール神戸工場

- ⑤ 事業者による環境管理情報等の公開促進  
事業者の環境報告書等を収集し、ひょうごエコプラザで情報提供を行うなど事業者の環境管理に関する情報公開の促進を図った。

## 2 地球温暖化防止活動の支援

### (1) 地球温暖化防止活動推進員への活動支援

#### ① 推進員等への活動支援 (一部県委託)

推進員等の地域での実践活動を支援するため、地域連絡会等に対して活動費を助成するとともに、啓発資材やDVD等の貸し出し、啓発冊子等の提供を行った。

- ・地球温暖化防止活動推進員 300名

#### ア 推進員のグループ活動支援

推進員の自主的な地域活動を促進し、地域での実践活動を支援するため、推進員のグループによる活動、地域連絡会による活動に対して必要な経費を助成するとともに、啓発キット・DVD等環境学習用器材の貸し出し、啓発冊子・エコチェックカレンダー等の提供を行った。

#### イ 脱温暖化こども体験学習推進事業助成

こどもの地球温暖化防止の体験学習の機会の提供と、ひょうご環境体験館等環境学習拠点の利用促進を図ることを目的として、推進員地域連絡会がひょうご環境体験館等の学習拠点を利用して行う、こどもへの地球温暖化防止に関する事業に対して支援を行った。

#### ② 推進員等への研修の実施 (環境省委託)

##### ア 推進員研修企画検討会の開催

[検討委員会開催状況]

第1回 平成21年7月24日(金) 神戸クリスタルタワー5F 学習支援室

第2回 平成22年3月12日(金) 神戸クリスタルタワー5F 学習支援室

##### イ 研修会実施状況

県内10地域において、地域連絡会の総会に合わせて推進員活動に必要な基礎的知識を学ぶ研修会等を実施した。

- ・研修会開催回数 8回 (延べ1,193名参加)

#### ③ 推進員のグループ活動の支援

地球温暖化防止活動推進員が地域で実践するグループ活動に対して、活動費の支援や啓発資材等の提供、貸し出しを行うほか、推進員の活動マニュアルの作成、最新情報のメール配信、推進員の活動用ツールの制作等も行った。



### 3 グリーンエネルギーの導入促進

#### (1) ひょうごグリーンエネルギー基金を活用した太陽光発電施設の設置

県民の募金によるひょうごグリーンエネルギー基金において、これまでに15ヶ所の太陽光発電施設、4ヶ所の小型風力発電施設が稼働している。

・総発電能力 57.59kW

#### (2) グリーンエネルギー学校の実施(環境省補助)

家庭への太陽光発電の導入と省エネルギーの促進を進めるために、グリーンエネルギーの基礎や家庭への太陽光発電の導入・設置事例と利点等について学ぶ講座を開催した。

##### ① 第1回(参加者100名)

[日程] 平成21年8月4日(火)

[場所] 兵庫県民会館 パルテホール

[内容] 「環境に優しいグリーンエネルギーについて」

兵庫県立大学工学部教授 川島陽介 氏

「新エネルギーの導入拡大に向けて」

経済産業省近畿経済産業局資源エネルギー部エネルギー対策課 橋本康代 氏

「太陽光発電の機器について」

株式会社日本エコシステム 総合企画部 マネージャー、

一般社団法人太陽光発電協会 広報部会 副部会長 小島盛利 氏

「太陽光発電導入補助金について」

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター 田路正崇

##### ② 第2回(参加者97名)

[日程] 平成21年8月18日(火)

[場所] 兵庫県民会館 パルテホール

[内容] ○講演

「住まいづくり・暮らし方と地球温暖化防止について」

大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所 研究主幹 濱恵介 氏

「太陽光発電を設置して」

太陽光発電設置者 繪川善啓 氏

○パネルディスカッション「太陽光発電の今後について」

コーディネーター

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター長 菊井順一

パネリスト

大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所 研究主幹 濱恵介 氏

株式会社日本エコシステム 総合企画部 マネージャー、

一般社団法人太陽光発電協会 広報部会副部会長 小島盛利 氏

太陽光発電設置者 繪川善啓 氏

財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 政策研究員 松尾雄介 氏  
特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク 関西地域交流会  
世話人、太陽光発電相談指導センター 相談指導員 北方龍一

③ 第3回 (参加者36名)

[日程] 平成 21年8月28日 (金)

[場所] 南あわじ市、洲本市

[内容] 南あわじウインドファーム (南あわじ市)

淡路県民局、ウェルネスパーク五色 (洲本市)

(3) 住宅用太陽光発電設置補助制度の活用促進 (経産省補助)

国が創設した住宅用太陽光発電導入支援対策費補助制度の活用についてPRを行うとともに、申請書類の受付を行った。

[募集期間] 平成21年4月1日(水)～平成22年3月31日(水)

[補助額] 1kWあたり7万円 (補助対象機器：最大出力10kW未満：6,252件)

(4) 太陽光発電相談指導センターの運営 (県委託)

太陽光発電の普及のため、平成 21年 7月 30日に開設して、相談指導員等を配置し、センターの運営を行った。

[概要] 神戸クリスタルタワー5階ひょうごエコプラザ内に設置

[開所時間] 9:30～17:30 (土・日・祝日も開所)

[業務内容]

① 一般住宅等の太陽光発電に関する相談指導

来館相談件数：295件、電話相談件数：4,504件

② 建築士等専門コンサルタントの派遣、指導・助言

派遣件数：20件 (10月～)

③ 国や県の太陽光発電等整備費補助の申請受付業務

④ うちエコ診断の受付や窓口診断の実施

来所診断件数：169件 (8月～)、訪問診断件数：44件 (11月～)、

集団診断件数：62件

⑤ 相談会の実施

相談員をイベント等に派遣し、太陽光発電相談指導センターブースを設置して太陽光発電導入の相談会や太陽光発電に関する展示を行った。

・ひめじ環境フェスティバル

[日程] 平成 21年 10月 3日 (土)、4日 (日) (来場者 33,000名)

[場所] 大手前公園 (姫路市)

[アンケート回答数] 310件

[相談件数] 26件

・環境&消費者フェア in あかし

[日程] 平成 21年 11月 3日 (火) (来場者4,500名)

[場所] 明石市立産業交流センター駐車場（明石市）

[アンケート回答数] 69件

[相談件数] 18件

・ひょうごエコフェスティバル

[日程] 平成21年11月14日（土）、15日（日）（来場者113,000名）

[場所] 県立但馬ドーム周辺（豊岡市）

[アンケート回答数] 204件

[相談件数] 20件

・ABCハウジング展示場

[日程] 平成22年1月10日（日）、11日（月）（来場者451家族）

[場所] 10日：明石海岸通り住宅公園（明石市）

11日：昆陽の里住宅公園（伊丹市）

[相談件数] 31件

・KOBE住宅フェア

[日程] 平成22年1月23日（土）、24日（日）（来場者3,100名）

[場所] 神戸ファッションマート

[相談件数] 14件

(5) CO2削減協力事業相談センターの運営（県委託）

中小企業者のCO2削減を促進するため、平成21年7月30日に開設し、相談指導員等を配置し、市場メカニズムを利用した県内でのCO2排出権取引のマッチング等を行った。

[概要] 神戸クリスタルタワー5階ひょうごエコプラザ内に設置

[開所時間] 9:30～17:30（月～金）

[業務内容]

①中小企業等からのCO2削減に関する相談・指導

相談・指導件数・・・ 47件

②CO2削減案件の抽出

a.現地ヒアリング調査・・・ 26件

b.次年度に向けたクレジット対象案件抽出・・・ 5件

・総計 270ton-CO2/年

③県内の中小企業の並びに大企業間のCO2排出権取引のマッチングに向けた調査

a.マッチングのためのアンケートの実施（11月上旬）

中小企業向けアンケート 2,887事業者

大企業向けアンケート 662事業者

④マッチング成立実績・・・ 3件

a.神戸医師協同組合－支援事業者(川崎重工業株式会社)

・CO2削減量：578ton-CO2/年

b.株式会社 山陽－支援事業者(株式会社三井住友銀行)

・CO2削減量：623ton-CO2/年

c. 菊正宗酒造株式会社－支援事業者(株式会社三井住友銀行)

・CO2削減量：80ton-CO2/年

#### 4 普及啓発活動

##### (1) 地球温暖化防止フォーラムの開催（環境省補助）

県民、事業者、NPO、行政が集い、地球温暖化防止について考えるため、「ポスト京都議定書 我が国の中期目標25%削減と低炭素社会の構築」をテーマにフォーラムを開催した。

[日程] 平成21年12月10日(木) (参加 247名)

[場所] 神戸国際会議場 301国際会議室

[内容] COP15 の現地コペンハーゲンと会場の WEB 中継

基調講演 京都大学経済研究所教授 一方井誠治 氏

パネルディスカッション

兵庫県立大学経済学部教授 新澤秀則 氏

株式会社 神戸製鋼所 環境防災部長 竹内正道 氏

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授 内山洋司 氏

東北大学大学院 文学研究科 教授 長谷川公一 氏

((財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク理事長)

WEB 中継によるコペンハーゲンからの COP15 現地報告：

NPO 法人 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)

専務理事 早川光俊 氏

#### 5 調査研究

##### (1) 家庭でのエネルギー使用から見た温室効果ガス排出状況等の調査

エコチェックカレンダー等の使用者からのエネルギー使用状況報告の集計解析・評価を行い、家庭での温暖化防止対策の効果的なあり方の検討を行った。

#### 6 全国地球温暖化防止活動推進センター等との連携

##### (1) 全国地球温暖化防止活動推進センターとの連携

全国地球温暖化防止活動推進センターと連携して「一村一品・知恵の環づくり事業」や「エコ住宅普及促進事業」等を実施した。

##### (2) 都道府県センター連絡会との連携

都道府県地球温暖化防止活動推進センター連絡会の顧問センターとして、各都道府県幹事センターと意見調整を行い、連携して国への提言等の取組を進めた。

## [循環型社会形成推進事業]

### 1 県民の循環型社会づくりの促進

#### (1) クリーンアップひょうごキャンペーン

潤いと安らぎのある美しい街並みを創り出すために、県民・NPO、事業者、行政が一体となって県内全域において「県内一斉クリーンアップ大作戦」を展開した。

[日程] 平成21年5月30日～7月31日

[主催] クリーンアップひょうごキャンペーン推進協議会

[参加者] 約48万人 [ごみ回収量] 約7,200トン

#### (2) 環境にやさしいマイバッグ運動の推進

兵庫県で推進しているマイバッグ運動の一環として、協会では、マイバッグ運動を広く周知展開するために、パンフレットを作成した。

・作成数 3,000部

#### (3) 3R検定モデル事業の実施（3R検定実行委員会委託）

3Rをキーワードとしたライフスタイルの浸透を目指し、3Rの意義を理解し、どう活かすか学び、行動していくことを広めるために、3R検定の試験会場（兵庫会場）の運営、試験対策講習会を実施した。

##### ① 兵庫試験会場の運営

[日程] 平成22年1月10日(日) 13:30～15:30

[場所] 甲南大学岡本キャンパス

##### ② 試験対策講習会の実施

[日程] 1回目：平成21年10月28日(水) 9:30～17:00（参加者13名）

2回目：平成21年11月25日(水) 9:30～17:00（参加者16名）

[場所] 兵庫県民会館

### 2 廃棄物等不適正処理適正化推進基金事業

#### (1) 原状回復及び原状回復調査事業

廃棄物等不適正処理適正化推進基金は、廃棄物処理法に基づき原状回復が困難な廃棄物等の不法投棄・不適正処理事案に対し、早期対応による拡大防止、原状回復措置を講じ、県民の安全・安心な生活環境の保全を図ることを目的として平成15年1月当協会に設置された。原状回復事業等の実施に際しては、専門家等で構成する兵庫県廃棄物等不適正処理適正化推進基金運営委員会を開催し、意見聴取を行うこととした。

## [国際協力の推進]

### 1 モンゴル森林再生プロジェクト（県緑化基金・コベルコ環境創造基金補助）

#### (1) ひょうご・モンゴル森林再生プロジェクトの調整

モンゴル森林再生プロジェクトの21年度事業について調整するため、担当職員等が訪問し、協議を行った。

[日程] 平成21年4月19日（日）～4月24日（金）

[派遣者数] 3名

[協議内容] ・森林再生センターの今後の活用内容と今年度の教育訓練計画  
・調査団派遣日程等

#### (2) ひょうご・モンゴル森林再生センターでの研修等の実施

日本から専門家等を派遣し、植林技術の研修を実施するとともに、森林再生センターの整備・運営等について協議した。

##### ① 第1回目

[日程] 平成21年6月16日（火）～6月22日（月）

[派遣者] 3名

##### ② 第2回目

[日程] 平成21年9月28日（日）～10月3日（金）

[派遣者] 4名

#### (3) ひょうごモンゴル森林再生プロジェクトの評価・検証、及び、植樹地のモニタリング調査

モンゴル国森林再生支援10年を過ぎることから、今後の事業展開を検討するにあたって、プロジェクトの評価・検証の進め方などを協議した。また、これまで支援した植林地の生育状況等のモニタリングの確認調査を行った。

[日程] 平成21年9月28日（日）～10月5日（金）

[派遣者] 2名

また、評価・検証の具体的な取りまとめについて、カウンターパートと協議を行った。

[日程] 平成22年3月5日（金）～9日（火）

[派遣者] 2名

#### (4) 植樹支援等

現地 NGO が実施する植樹活動を支援するため、植樹等に必要な経費を提供した。

[支援内容] 育苗場の管理、植樹、森林再生センターの運営等

[カウンターパート] モンゴル森林フォーラム（MoFF）

### 2 パラナ州沿岸地域における自然再生普及事業及び環境保全技術支援フォローアップ事業

（コベルコ基金）

#### (1) ブラジルパラナ州パラナグア湾自然生態再生支援事業

パラナ州の大西洋沿岸地では、都市の市街地化と漁師による計画性のない漁業の影

響で、自生するマングローブ群の破壊が始まっており、早急な対応が必要とされている。そのため、当協会では、パラナ州の NGO 等が運営・実施する、マングローブが多く密集している、グアラケサーバ市、グアラツーバ市及びパラナグア市の一部の漁村民と学校生徒を対象とした普及活動の実施に支援を行った。また、評価・検証を行うため、カウンターパートと協議を行った。

[日程] 平成22年2月28日(日)～3月9日(火)

[派遣者] 1名

## (2) パラナ州沿岸域における環境保全技術支援フォローアップ事業～パラナグア湾沿岸と海のモニタリングシステムの構築～支援

昨年度まで、JICA の委託で実施していた「ブラジルパラナ州沿岸域環境保全技術支援事業」のフォローアップ事業として、マングローブ林等の保護に必要な沿岸域の水質浄化を目的としたモニタリングシステムの構築に係る助言・アドバイスをを行った。

## [環境学習施設の運営]

### 1 ひょうごエコプラザの運営

情報発信、交流促進、活動支援等の機能を有し、環境学習・教育の中核交流拠点、活動団体等の交流拠点、環境学習・教育の総合相談窓口として運営した。

また、7月30日には、「太陽光発電相談指導センター」「CO<sub>2</sub>削減協力事業相談センター」を開設し、太陽光発電に係る相談や、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みに関する相談窓口を設置した。

[施設の概要]

場 所: 神戸市中央区東川崎町 1-1-3 (神戸クリスタルタワー 5階)

開 館 日: 月～土曜日 10時～18時

来館者数: 4,724名 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

[事業の概要]

- ・環境学習・教育コーディネーターによる相談事業 (一部県補助)
- ・環境学習サポーターの登録・紹介
- ・各種申請の受付
- ・環境学習器材の貸し出し
- ・エコプラザE-mail通信

### 2 ひょうご環境体験館 (愛称: はりまエコハウス) の管理運営 (県受託)

体験活動等を通じ、地球温暖化などの環境問題について県民一人ひとりの意識の向上や、県民による環境の保全と創造に関する活動を促進するため、県が播磨科学公園都市に整備した「ひょうご環境体験館」の指定管理者として委託を受け、環境学習プログラムの実施、イベントの開催、展示等による普及啓発などの体験型環境学習の推進を行った。

[施設の概要]

場 所：佐用郡佐用町光都 1-330-3(播磨科学公園都市内)  
規 模 等：敷地面積 5,000 m<sup>2</sup> 延床面積 995 m<sup>2</sup>  
設 置 者：兵庫県  
開 設 日：平成20年3月20日  
来館者数：21, 549名 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

[事業の概要]

(1) ひょうご環境体験館運営委員会の開催

- 第1回 [日程] 平成21年7月7日(火)  
[場所] ひょうご環境体験館 地球工房  
第2回 [日程] 平成22年3月4日(木)  
[場所] ひょうご環境体験館 シアター

(2) 環境学習事業

① 基本プログラムの実施

学校等の団体に対応した科学実験、エネルギー実験、環境工作、くらしの知恵をテーマとしたプログラムを実施した。

・実施件数 71件 参加者数 3, 240名

② 特別プログラムの実施

土日・祝日を中心に、体験館の周辺の自然も活用しながら、幅広いメニューの環境講座を開催した。

・実施件数 50件 参加者数 1, 988名

③ 企画イベントの実施

活動団体等の協力を得ながら施設や地域特性を生かしたイベントを開催した。

・実施件数 9件 参加者数 4, 570名

④ 春季特別企画の実施

・実施件数 3件 参加者数 1, 253名

(3) 人材育成事業

環境学習に係る指導者や地域で環境保全活動を実践する人材を育成するための研修会、シンポジウム、セミナー等を企画・実施した。

・実施件数 3件 参加者数 131名

(4) 企画展示事業

地球温暖化防止等に係る企業の新技術や環境保全に対する地域団体の取り組みなどを展示・紹介した。

・特別展 13回実施

(5) 地球温暖化防止活動支援事業

地域における地球温暖化防止活動を支援するため、地球温暖化防止に関する啓発ツールや資料を収集、貸出した。

・貸出件数 14件



(6) 情報発信事業

イベント情報、施設案内、利用案内、アクセスマップ、体験館日記

(7) ひょうご環境体験館における出前環境学習事業（県委託）

環境学習推進員を配置し、環境学習関連情報の提供や、地域の学校等の環境学習ニーズの開拓、ひょうご環境体験館が有するノウハウを活用した出前環境学習教室を実施するとともに、ひょうご環境体験館の利用促進を図った。

① 地域の学校等の環境学習ニーズの開拓等

- ・学校等が取り組んでいる環境学習及びその課題・ニーズ等の調査
- ・学校等に対する環境学習プログラム等のPR
- ・PR活動に必要な広報ルーツの作成
- ・その他、環境学習関連情報の提供

② 出前環境学習教室の実施

- ・学校等の要望に応じた事業の企画・調整
- ・事業の実施運営

## 〔Ⅳ〕 環境調査・測定分析業務

### (1) 環境調査・コンサルタント業務 件数50件(年度完了業務)

#### ① 兵庫県関係 (20件)

- ・ 上山高原自然再生事業モニタリング・事業監理等業務(環境創造局 自然環境課)
- ・ 貴重な自然生態系保全・再生活動支援事業に関する業務(環境創造局 自然環境課)
- ・ 「災害に強い森づくり」にかかる整備効果の検証(農林水産技術総合センター)
- ・ 武庫川水系 武庫川上流モニタリング調査業務(丹波土木事務所)
- ・ 円山川水系 横谷川 植物保全対策検討業務(豊岡土木事務所)
- ・ 尼崎港西宮芦屋港御前浜周辺整備計画策定業務(尼崎港管理事務所)
- ・ 青野ダム 魚道モニタリング調査業務(宝塚土木事務所)
- ・ 武庫川水系 武庫川 武庫川峡谷環境調査(宝塚土木事務所)
- ・ あわじ石の寝屋緑地事後調査業務(洲本土木事務所)
- ・ 大谷鮎原神代線 ホタル生息状況モニタリング調査業務(洲本土木事務所)
- ・ ひょうご情報公園都市環境監視調査業務(企業庁情報公園都市建設事務所)

#### ② 神戸市関係 (2件)

- ・ 神戸複合産業団地及び西神住宅第2団地環境調査業務(みなと総局)
- ・ 複合産業団地地区植物管理作業((財)神戸市開発管理事業団)

#### ③ 国及びその他外郭団体 (8件)

- ・ 産業技術研究開発委託費(中国広東省における循環型経済の発展に向けた協力・支援事業の選定)(経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課)
- ・ 神戸学園南地区 環境影響評価事後調査業務(独立行政法人 都市再生機構)
- ・ 成果重視事業ソフトセルロース利活用技術確立事業(農林水産省 近畿農政局 地域整備課)
- ・ 環境報告書原稿作成業務(大阪湾広域臨海環境整備センター)

#### ④ その他市町関係 (2件)

- ・ BFろ布取替等及び固化物コンベア改修工事発注仕様書作成等業務(淡路市)
- ・ 浸出水処理施設維持管理検討業務(豊岡市)

#### ⑤ 民間関係 (18件)

- ・ 高砂積出港(西港)埋立準備環境アセス業務
- ・ 容器包装プラスチック類の圧縮梱包施設に係る生活環境影響調査業務
- ・ 浄化槽基本台帳の整備及び実態調査業務
- ・ 一般廃棄物中間処理の設置に係る生活環境影響調査業務
- ・ 北摂三田第2テクノパーク工業用地環境保全対策業務
- ・ 廃棄物最終処分場の設置に係る生活環境影響評価調査業務
- ・ 産業廃棄物中間処理施設の設置に係る生活環境影響調査業務 他2件

## (2)測定分析業務

### ① 主な受託業務 件数163件

- ・大阪湾・播磨灘水域等の水質及び底質調査業務（県環境管理局水質課）
- ・事業場排水等の分析業務（神戸市建設局下水道河川部計画課）
- ・新湊川水系烏原川石井ダム水質調査業務（神戸土木事務所）
- ・西紀ダム水質調査業務（丹波土木事務所）
- ・埋立処分地周辺水質調査業務（神戸市環境局資源循環部施設課）
- ・加古川小野線東播磨南北道路水足地区モニタリング調査業務（加古川土木事務所）
- ・法定・自主水質検査業務（三木市上下水道課）
- ・水道水質検査業務（明石市水道部）
- ・水質試験業務（加古川市水道局）
- ・猪名川町笹尾浄水場等水質検査業務（猪名川町建設部上下水道課）
- ・加古川下流流域下水道終末処理場建設に係る環境監視調査業務（加古川土木事務所）
- ・薬剤防除自然環境等影響調査業務（県環境創造局豊かな森づくり課）
- ・兵庫県域環境監視調査業務（大阪湾広域臨海環境整備センター）
- ・自動車公害測定用モニタリングボックス運用業務（県環境管理局大気課）
- ・ダイオキシン類調査業務（県環境管理局大気課）
- ・移動観測車運用業務（県環境管理局大気課）
- ・神戸市ダイオキシン類常時監視等調査業務（神戸市環境局環境評価共生推進室）
- ・新幹線鉄道騒音・航空機騒音モニタリングのあり方に関する検討調査業務（環境省水・大気環境局自動車環境対策課）
- ・化学物質環境実態調査（環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課）
- ・道路交通騒音・振動・交通量調査（神戸市環境局環境保全指導課）
- ・大気中微小粒子状物質PM<sub>2.5</sub>分析業務（播磨町健康安全グループ）
- ・旧市立神戸工業高等学校土壤汚染状況調査業務（神戸市教育委員会学校計画課）
- ・姫路駅周辺地区土壤汚染調査業務（姫路市都市局まちづくり推進部開発課）
- ・産業拠点等整備区域土壤調査業務（小野市総合政策部プロジェクト推進グループ）
- ・駅北30・31街区土壤調査業務（加古川市土地開発公社）
- ・県立加古川病院跡地土壤汚染調査業務（県病院局企画課）
- ・土壤汚染対策法第3条第1項に基づく土壤汚染状況調査業務（県健康福祉部社会福祉局総務課）
- ・上比延町土壤汚染状況調査業務（民間） 他135件

### ② 分析測定件数（詳細は、41ページ以降の別表1-1～1-6のとおり）

水質・土壌・産業廃棄物関係	72,620件
水道水質検査関係	75,364件
生物相関係	141件
大気・悪臭関係	12,924件
作業環境測定関係	3,757件
騒音・振動関係	769件

## 〔V〕兵庫県環境研究センター事業

兵庫県が平成20年10月に策定した「新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）」に基づき、兵庫県立健康環境科学研究所の環境部門が移管されたことから、新たな「兵庫県環境研究センター」を本協会に設置し、兵庫県と連携して高度な調査研究及び試験分析を行った。

### 1. 行政検査に係る調査分析事業（県委託）

大気汚染・水質汚濁に係る監視調査、工場・事業場への立入検査等の調査測定、及び発生源に対する適正管理や排出抑制対策等の指導助言等を実施した。

#### (1) 大気汚染対策関連

##### ① ダイオキシソ類濃度測定調査業務

工場等の立入検査時に採取された排出ガス、排出水中のダイオキシソ類濃度を測定した。

[立入工場等数] 6件（クリーンセンター、工場・産廃業者の廃棄物焼却施設）

[検体数] 6件（排ガス4、排水2）

##### ② ばい煙濃度調査業務

規制基準遵守徹底のため実施した工場等の立入検査に係る試料測定を行った。

[立入工場数] 4件

[分析検体数] 7件（ボイラー、廃棄物焼却施設、レンガ炉等）

[測定項目] 4項目（ばいじん、硫黄酸化物等）

##### ③ 揮発性有機化合物(VOC)濃度測定調査業務

兵庫県による排出施設への立入検査に同行し、試料採取を行った。

[立入工場数] 9件（印刷業、紙製品製造業、プラスチック製品製造業、機器製造業（塗装）等）

[採取件数] 22件

##### ④ 金属物質環境汚染監視業務

環境大気中の浮遊粒子状物質に含まれる有害金属物質について調査を行った。

[調査地点] 10地点

[調査回数] 12回／年

[検体数] 120件

[調査項目] 7項目（鉛、カドミウム等）

##### ⑤ 酸性雨監視測定業務

酸性雨の実態を把握し対策を推進するため、酸性雨の状況について調査を行った。

[調査地点] 2地点（センター屋上、但馬県民局（豊岡市））

[検体数] 104件

[調査項目] 10項目（PH、硝酸イオン等）

⑥ 有害大気汚染物質監視業務

有害大気汚染物質（有害性及び大気環境濃度から健康リスクが高いとして環境省が優先取組物質に指定した物質）についてモニタリング調査を行った。

[調査地点] 8箇所12地点

[調査回数] 1～2回／年

[検体数] 294件

[調査項目] 19項目（トリクロエチレン、クロホルム、ベンゼン、水銀等）

⑦ アスベスト環境監視業務

県下の一般環境及び立入検査した吹付けアスベスト等含有建築物の解体・改修工事現場でのアスベストについて調査分析を行った。

（大気環境調査） [調査地点] 10地点

[調査回数] 2回／年

[検体数] 20件

（解体現場周辺調査） [検体数] 129件

⑧ ヒートアイランド現象モニタリング調査業務

兵庫県が学校等に設置した温度計等の維持管理、データ収集・解析を行った。

[調査地点] 33地点（県南沿岸部（高砂市～尼崎市）小学校及び中学校）

[検査項目] 気温、年間連続測定

[検体数] 132件

⑨ 地球温暖化対策に関する調査業務

兵庫県が「新地球温暖化防止推進計画」に基づき実施する温暖化対策の評価に資する基礎データを提供するため、県下の平成19年度におけるエネルギー消費実態及び部門別の温室効果ガス排出構造に係る調査・分析を行った。

[調査項目] エネルギー総消費量と消費構造の把握

部門別二酸化炭素及びその他温室効果ガス排出量の推定

(2) 水質汚濁・土壌汚染対策関連

① 水質環境基準等監視分析業務

公共用水域及び地下水の環境基準達成状況を把握するために調査を行った。

ア 公共用水域

[調査地点] 57地点

[調査回数] 1～4回／年

[検体数] 135件

[調査項目] 51項目（亜鉛、カドミウム、PCB、チウラム等）

イ 地下水

(概況調査)	[調査地点]	35地点
	[調査回数]	1回／年
	[検体数]	35件
	[調査項目]	21項目 (砒素、シマジン等)
(継続監視調査)	[調査地点]	50地点
	[調査回数]	1回／年
	[検体数]	50件
	[調査項目]	6項目 (鉛、トリクロロエチレン等)

② 工場排水分析業務

水質汚濁防止法に基づき、兵庫県が立入検査した工場・事業場の排水について調査を行った。

[立入工場等数]	66工場・事業場 (化学工業、金属材料、電子部品等)
[調査回数]	1回／年
[検体数]	78件
[調査項目]	25項目 (総水銀、ベンゼン等)

③ 土壌汚染対策分析業務

地下水・土壌汚染による健康影響被害を防止するため、地下水汚染が判明している地区において、地下水モニタリング調査を行った。

[調査地区]	芦屋市等3地区
[調査回数]	隔月
[検体数]	水質86検体、土壌ガス44検体
[調査項目]	5項目 (テトラクロロエチレン等)

④ 広域総合水質調査業務

瀬戸内海の総合的な水質汚濁防止対策の効果を把握するため、関係府県と調査時期を合わせて水質・底質調査を行った。

ア 水質調査	[調査地点]	11地点
	[調査回数]	4回／年
	[検体数]	44件
	[調査項目]	14項目 (COD、栄養塩類等)
イ 底質調査	[調査地点]	2地点
	[調査回数]	4回／年
	[検体数]	8件
	[調査項目]	10項目 (TOC、硫化物等)

(3) 有害化学物質対策関連

① 未規制化学物質実態調査業務

残留性、毒性等の高い未規制化学物質による環境リスクの低減を図るため、有機フ

フッ素化合物や臭素系難燃剤による環境汚染の実態把握調査を行った。

[調査項目] 31項目 (PFOA 等)、3項目 (臭素系難燃剤 PBDE 等)

(水質) [調査地点] 8地点

[調査回数] 年2回

[検体数] 16検体

(大気) [調査地点] 3地点

[調査回数] 年2回

[検体数] 6検体

## ② 化学物質環境実態調査分析等業務

化学物質の分析法開発に係る調査及び環境中の化学物質の濃度レベルを把握調査を行った。

[分析法開発] 5物質群

[初期・詳細調査] 7物質群 (底質、魚類、大気等各3検体)

[モニタリング調査] 31物質群等 (水質、底質、魚類、大気各3検体)

## ③ 高砂西港緊急底質精密調査業務

高砂西港において、底質のPCB精密調査を実施した。

[検体数] 底質 9 検体

## ④ 地下水・河川PFOA調査業務

地下水で有機フッ素化合物の一つであるPFOAが検出地点及び周辺の調査を行った。

[検体数] 5検体 (河川、地下水等)

[調査項目] 5項目 (PFOA 等)

## (4) 廃棄物対策関連

### ① 特別管理産業廃棄物監視事業

過去に不法投棄があった区域において、周辺環境への影響を把握するため、水質調査を実施した。

[検体数] 6検体 下流に位置する観測井戸で年6回

[調査項目] 7項目 (鉛、カドミウム等)

## 2. 環境に関する調査研究

### (1) 有害化学物質汚染対策等に関する研究

有害化学物質による環境汚染の未然防止の観点から、以下の研究を行った。

① POPs条約規制対象物質の他、有機フッ素化合物など未規制物質の環境中動態の把握、リスク低減のための成分分析

② バイオアッセイ法による環境モニタリング

③ 不法投棄等の問題に対処するため産業廃棄物監視等に関する研究

(2) 水質汚濁、閉鎖性海域の環境改善対策等に関する研究

- ① 規制になじまない山林、農地、市街地等土地利用形態別の環境負荷物質の流出特性を把握
- ② 干潟に代表される浅場の特性を活用して生物が担う物質循環を再構築すること等による難分解性有機物の低減化等閉鎖性海域の環境改善を行うための研究

(3) 大気汚染、ヒートアイランド対策等に関する研究

大気環境保全に関する最近の行政ニーズに即して、以下の研究を行った。

- ① 広域光化学汚染の実態把握
- ② 自動車排ガス対策
- ③ ヒートアイランド対策の効果検証
- ④ 黄砂飛来時の有害物質汚染の監視
- ⑤ 新たに環境基準が設けられた大気中微小粒子状物質（PM2.5）の大気中濃度の監視、実態把握等に関する研究

(4) 環境省等委託研究

兵庫県環境研究センターの技術力、先進性を活かして他府県や大学と連携し、県施策への貢献と迅速な対応ができるよう、現在懸案となっている事例や今後の課題について研究を行った。

- ① 有機フッ素化合物の発生源、汚染実態解明、処理技術開発（環境省委託）
- ② 日本海域における有機汚染物質の潜在的脅威の把握業務（環境省委託）
- ③ 生体試料を用いた環境中有害化学物質曝露の健康被害評価（科学研究費）
- ④ 廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究（大阪湾センター研究助成事業）
- ⑤ 大阪湾圏域における海域環境の再生・創造に係る研究（大阪湾センター研究助成事業）
- ⑥ 受入廃棄物中の有機フッ素化合物濃度の評価検討業務（大阪湾センター受託研究）
- ⑦ 早期安定化に向けた保有水汚濁物質等調査業務（大阪湾センター受託研究）[環境技術部との連携事業]

3. 国際協力の推進

(1) 環境安全のための化学物質のリスク管理と残留分析コース（JICA受託事業）

開発途上国における行政官や試験研究機関の技官を対象に、環境負荷物質のリスク評価・管理及びモニタリング技術の総合的な習得を目的とする研修を行った。

[研修期間] 平成21年6月29日（月）から7月27日（月）

[研修員] キューバ、セルビア、トルコ、ベトナム 4カ国 計8名

(2) 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク強化コース（JICA 受託事業）

東アジア諸国において酸性雨問題に従事する中堅技術者を対象に、モニタリング技



術の習得、酸性雨の発生機構、環境影響、並びに原因物質の発生源対策の理論と実務の修得を目的とする研修を行った。

[研修期間] 平成21年10月13日(火)から12月11日(金)

[研修員] カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー、タイ 5カ国 計6名

(3) 閉鎖性海域の水環境管理コース(講師依頼)

JICA受託事業先である(財)国際エメックスセンターからの依頼により発展途上国等の中堅行政担当官に環境管理計画の策定、規則の手法等の指導を行った。

[講義日] 平成21年9月3日(木)、8日(火)、11日(金)、10月26日(月)

[研修員] メキシコ、コートジボワール 2カ国 計7名

4. 研究発表等研究成果の普及、情報提供

(1) 設立記念講演会及び研究発表会の開催

[日程] 平成21年11月27日(金)(参加者 約200名)

[場所] 兵庫県教育会館 ラッセホール 2F ローズサルーン

[講演] 「低炭素社会にむけて どう変わらねばならないか」

西岡秀三氏 (国立環境研究所 特別客員研究員)

(2) 県環研リポートの発行

発行回数 2回 (10月、3月)

市町等環境関連施設等への送付及びホームページでの掲載

(3) 紀要(研究報告)の発行

ホームページでの掲載

## 〔VI〕 経営管理

### (1) 主要課題解決に向けた推進体制の整備

旧環境創造協会と旧環境クリエイトセンター役員と両団体幹部職員で構成する「運営会議」を設置し、統合に向けた進め方や移管された兵庫県環境研究センターとの連携など諸課題について協議・検討し、実施すべき方策について意思決定を効率的、機動的に行った。

### (2) 営業対策推進本部の設置

当協会の主要業務である調査・分析及び環境コンサルタント事業については、同業他社との価格競争に起因する受注環境の悪化により、予算確保が厳しくなるなか、新規分野の開拓による受注確保を進め、経営環境の安定を図るため、「営業対策推進本部」を設置し、当協会の特長を打ち出した営業活動の展開を図った。

### (3) 団体統合に向けた体制整備

団体統合に関する事務手続き等を的確かつ迅速に進めるため、旧環境創造協会総務課内に「合併担当」2名（内1名は環境クリエイトセンターから派遣）を設置し、昨年11月、12月の理事会、兵庫県知事への合併申請、4月1日の合併登記等に対応した。

## 〔VII〕 環境管理

### (1) エコアクション21による環境への取組の促進

平成21年2月に取得した、エコアクション21を組織全体で環境に配慮した事業活動を展開した。

## 〔Ⅷ〕旧兵庫県環境クリエイトセンターの主な事業

### 1 基金土地会計

#### (1) 研究啓発事業

廃棄物の減量化、再資源化を促進し、循環型社会形成に向けた活動に対する支援を行うため、研究・啓発事業を実施した。

##### ① 市町等職員研修

新たにごみ処理事業に従事することになった市町等の職員を対象とする基礎的・実務的な知識の修得を目的とする研修会及び中堅職員を対象とする先進的なごみ処理施設等の見学会を開催した。

区 分	開催年月日	開催場所	開催テーマ等	出席者
研修会	H 21. 7.16	兵庫県中央労働センター	・ごみ処理に係る法制度 ・ごみ処理の目的と方法	37 団体 57 名
見学会	H 22. 1.13	国崎クリーンセンター（川西市）	・平成 21 年3月に竣工したごみ処理施設「国崎クリーンセンター」の見学	23 団体 39 名

##### ② 広報誌の発行による普及啓発

県下の市町廃棄物担当者の知識、技能の向上に資するため広報誌「環境クリエイトひょうご」を発行し、廃棄物の適正処理及び効果的な減量、先進的なリサイクル等に関する情報を発信した。

###### 〔発行状況〕

発行時期 年1回（平成22年3月、第26号）

発行部数 1,000部

配布先 県内市町、団体等

##### ③ ホームページによる啓発

当センターの事業概要、財務状況等を情報公開するとともに当センターが主催する各種行事、関連する団体の活動状況、関連団体が主催する各種講習会・講演会の開催などの情報を発信した。

##### ④ ひょうごエコフェスティバルへの出展

「環境にやさしい資源循環型社会システムの形成をめざして」を目的に開催されたひょうごエコフェスティバルへ4団体（兵庫県環境整備課、(財)兵庫県環境クリエイトセンター、(社)兵庫県産業廃棄物協会、兵庫県電機商業組合）が共同して出展を行った。

開催年月日	開催場所	入場者数
H 21.11.14～ H 21.11.15	豊岡市 (兵庫県立但馬ドーム周辺)	14,000 人

⑤ クリーンキャンペーンの共催

クリーンアップひょうごキャンペーン推進協議会が実施するクリーンキャンペーン(期間：平成21年5月30日～7月31日)に協力団体として参加した。

⑥ 兵庫県・広東省等環境ビジネス交流支援事業

兵庫県と広東省等の企業間における環境ビジネスの取り組みを促すため、兵庫県主導のもと、平成19年6月に設立された「兵庫県・広東省等環境ビジネス交流会議」が行う各種交流事業を支援した。

平成21年度は、下記の事業を実施した。

実施事業名	開催年月日	開催場所・行先等	参加者数
平成21年度 定期総会	H 21. 6.10	ラッセホール	62 人
JICA 草の根技術協力事業 広東省訪日研修団受入	H 21. 8.31	(財)兵庫県環境クリエイトセンター	研修団人数 5 人
2009 日中省エネ・環境技術交流展示会(広東)	H 21.10.30	中国広東省広州市 中国大酒店	640 人
中国環境ビジネスセミナー ※クラスター形成支援事業と連携	H 21.12.15	ラッセホール	57 人
専用ウェブサイトの更新	更新回数5回	—	—

⑦ ひょうごエコタウン推進会議支援事業

兵庫県では、既存の産業基盤等の活用による広域的な資源循環体制の実現等を目指す「ひょうごエコタウン構想」を策定し、平成15年4月25日に近畿地方では初めて国の承認を受けた。

同年12月に、「ひょうごエコタウン構想」の推進を図る組織として、事業者や市町等で構成する「ひょうごエコタウン推進会議」(事務局：当センター)を設立し、新たなリサイクルビジネスの事業化研究や各種情報の収集と提供などの事業を支援している。

平成21年度は、下記の事業を実施した。

会議開催	開催年月日	開催場所	参加者数
平成21年度 定期総会	H 21. 6.16	ラッセホール	105 人
平成21年度 活動報告会 ※ クラスター形成支援事業と共催	H 22. 3. 9	ラッセホール	72 人

展示会等への出展	開催年月日	開催場所	入場者数
ひょうご環境ビジネス展 ※ クラスター形成支援事業と共催	H 21. 9. 3～4	神戸国際展示場	19,115 人

研究会運営	開催年月日	参加企業・団体
都市型食品残渣有効利用研究会 ※ クラスター形成支援事業と連携	H21. 7.29 9. 8 H22. 3. 3	和歌山大学、京都大学、大阪ガス(株)、 浜田化学(株)、金澤産業(株)、ダイネン (株)、サトレストランシステムズ(株)、 兵庫県農政環境部、西宮市、尼崎市
廃ガラス適正リサイクル研究会	—	事業化支援テーマに移行して実施
鉄鋼スラグ利用拡大研究会	全体会議： H21. 7.13 12.21 H22. 3.16 陸域WG： H21. 9.17 12.16 H22. 2.25 海域WG： H21.10. 1 H22. 3. 5	大阪大学、神戸大学、京都大学、大 阪工業大学、新日本製鐵(株)、(株)神戸 製鋼所、山陽特殊製鋼(株)、神鋼スラ グ製品(株)、広鋳技建(株)、兵庫県漁業 協同組合連合会、兵庫県農政環境部、 兵庫県県土整備部、兵庫県立農林水 産技術総合センター、(財)ひょうご 環境創造協会

⑧ 環境率先モデル事業に対する市町支援事業

平成19年度から市町等が資源循環型社会の形成に向けた取り組みを促進するため、地域ぐるみで廃棄物等を資源として活用する事業に対して助成するもので、平成21年度は6月初旬から7月末日の期間に助成対象となる事業の募集を行ったが、応募がなかった。

(2) 補助・受託事業

① 環境ビジネスクラスター形成支援事業（近畿経済産業局 補助事業）

平成18年度から近畿経済産業局の補助を受けて実施している「兵庫県播磨・神戸地域環境ビジネスクラスター形成支援事業」について、産学官協働体制のもと「ひょうごエコタウン推進会議」や「兵庫県・広東省等環境ビジネス交流会議」と連携しつつ、平成21年度は、下記事業を実施した。

実施事業名	開催年月日	開催場所・行先等	参加者数
平成21年度 企画会議	H 21. 6.19	ラッセホール	—
	12. 2	県民会館	—
	H 22. 3. 9	ラッセホール	—

環境シーズ・ニーズマッチングフォーラム	H 21. 9. 3	神戸国際展示場	110 人
中国環境ビジネスセミナー ※兵庫県・広東省等環境ビジネス初交流会議と共催	H 21.12.15	ラッセホール	57 人
平成 2 1 年度 活動報告会 ※ひょうごエコタウン推進会議と共催	H 22. 3. 9	ラッセホール	72 人

研究会運営	開催年月日	参加企業・団体
都市型食品残渣有効利用研究会 ※クラスター形成支援事業と連携	H21. 7.29 9. 8 H22. 3. 3	和歌山大学、京都大学、大阪ガス(株)、 浜田化学(株)、金澤産業(株)、ダイネン (株)、サトレストランシステムズ(株)、 兵庫県農政環境部、西宮市、尼崎市

実施事業名	開催年月日	開催場所・行先等	入場者数
ひょうご環境ビジネス展開催(再掲) ※エコタウン推進会議と共催、11社が出展	H 21. 9. 3 ～4	神戸国際展示場	19,115 人
びわ湖環境ビジネスメッセ出展	H 21.10.21 ～23	長浜ドーム	38,970 人

② バイオ燃料製造共同研究事業（環境省 地球温暖化対策技術開発事業）

当センターが主催した平成18年度のバイオマス利用技術研究会の成果を踏まえて、神戸大学と連携して環境省の委託研究開発事業に応募し、神戸大学が代表研究機関となり（当センターは共同研究者）、平成19年度から3年間の委託事業として採択された。

この研究は、酵素法を用いた廃食油からのBDFの製造、副産物（グリセリン）のリサイクル（アミノ酸の製造）及び農産資源からのエタノール製造について事業化検討を行った。

酵素法によるBDF製造技術については、神戸大学に小型プラントを設置して、連続化プロセスによる低コスト量産製造技術を完成させ、兵庫県南部におけるBDF実証試験モデルを提案した。

また、エタノール製造についても、玄米からの一段変換法の基礎技術を確立した。

実施事業名	開催年月日	参加企業・団体
検討会	H21. 7. 6 10.19 H22. 1.14 3. 1	神戸大学、 浜田化学(株)、Bio-energy(株)、味の素(株)、月桂冠(株)、 日本水産(株)、稲美町、加西市、 兵庫県農政環境部、兵庫県淡路県民局、 (財)ひょうご環境創造協会、 (財)兵庫県環境クリエイトセンター

③ JICA受託事業 「海外研修生 受入事業」

(独)国際協力機構(「JICA」)兵庫事務所が開発途上国の地方行政機関等の環境行政担当者を対象とした「自治体廃棄物処理に関する研修事業」の実施にあたり、当センターが国内受託機関となり、研修カリキュラム編成と講師・見学先選定を行い、研修会を2回実施した。

カリキュラムは、県・市町職員、大学、事業者等の協力を得て、市民・行政・事業者の連携等によるごみ減量・発生抑制、リサイクルの3R施策と収集・運搬、中間処理、最終処分などの適正処理にかかる講義、視察ならびに研修員の演習・討議等で構成した。

なお、各研修員は、研修成果をもとに、自国において活用する「廃棄物処理改善計画案」を取りまとめた。

【実施状況】

研修コース名称	研修期間	研修員
Aコース	平成21年8月26日～10月16日	3カ国 5名
Bコース	平成22年1月14日～3月5日	5カ国 7名

(3) 丸島土地の管理

丸島土地の未売却用地(18,254.08m<sup>2</sup>)は、武庫川下流域下水道終末処理場拡張用地等として、兵庫県等に売却予定であったが、県では、同地域の下水道計画を変更し、それに併せて、他目的を含めて総合的な利用方法を検討中である。平成22年度も県に買収要請を行っていく。

2 廃棄物処理施設事業

(1) 廃家電回収情報調整受託事業

「廃家電の回収・運搬システム」兵庫方式に係る業務において、家電リサイクル法で販売店が消費者から引き取った廃家電(一部、義務外品)を、メーカーの指定引き取り場所に届ける業務を円滑に進めるため、当センターは、組合と契約している収集運搬業者や一時保管場所に関わる市町との調整業務を兵庫県電気商業組合から受託して実施した。

また、このシステムや家電リサイクル法に対する普及啓発事業として、消費者、組合員、市町の担当者を対象に家電リサイクル法の学習会や家電リサイクル工場(パナソニックエコテクノロジーセンター(株))の見学会を実施した。

当該システムによる平成21年度の回収台数 43,421台

区分	開催年月日	開催場所	参加者数
家電リサイクル法学習会	H 21.11.6	姫路市勤労市民会館	60人

廃家電再商品化 工場見学会	H 22. 2. 2	パナソニックエコ テクノロジーセンター(株)	延べ 368 人
	2. 3		
	2. 4		
	3. 4		

## (2) 溶融処理事業

県内市町等の要請を受け、市町等の焼却施設から発生するばいじん・焼却灰を受け入れ、破碎・選別の前処理を行った後、兵庫西流域下水汚泥広域処理場の溶融施設を活用して溶融処理を行ってきた。平成21年度は、1市からのばいじんを対象に溶融処理を行った。

施設の老朽化に伴い、平成21年度をもって終了した。

平成21年度処理状況

(単位：トン)

受 入 市	ばいじん	焼 却 灰	計
西 宮 市	672	0	672

## (3) セメントリサイクル事業

施設の老朽化に伴い平成21年度で終了することとなった溶融処理事業の後継事業として、住友大阪セメント(株)との共同事業により、市町等から委託を受けて、焼却灰等をセメント原料として処理する事業を立ち上げることとなり、平成21年度は、事業化に向けて地元調整及び関係法令に基づく手続き等を行い、住友大阪セメント(株)が前処理施設の建設工事に着手した。

この共同事業の実施にあたり、使用権原の付与を受ける前処理施設の建設に係る協力の一環として、預かり保証金として3億円を平成21年度に住友大阪セメント(株)に預託した。

### ① 事業分担

ア (財)兵庫県環境クリエイトセンター

- ・ 市町等からの焼却灰・ばいじんの受入業務
- ・ 焼却灰及びばいじんをセメント原料として利用するための前処理

イ 住友大阪セメント(株)

- ・ 焼却灰及びばいじんの前処理施設の建設
- ・ 前処理後物のセメント焼成処理

### ② 事業場所

ア 前処理施設

赤穂市西浜町 1016—1 (住友大阪セメント(株)赤穂工場の隣接地)

イ セメント焼成施設

赤穂市折方字中水尾 1513 (住友大阪セメント(株)赤穂工場の既存施設)



③ 処理能力

ア 焼却灰	26,000 トン/年	(81 トン/日)
イ ばいじん	6,000 トン/年	(19 トン/日)

(4) 廃棄物行政に係る市町等支援事業

廃棄物処理施設の整備をはじめとする廃棄物行政において、各市町等の単独の努力だけでは対応しきれない場合が増えていることから、廃棄物処理計画の作成・機種選定・発注仕様書作成や廃棄物の適正処理等の支援事業を平成17年度から行っている。

平成21年度においては、前年度に引き続き、にしはりま環境事務組合に対して廃棄物処理施設整備について支援事業を行った。

また、佐用町については、台風災害により発生した廃棄物の処理計画策定を支援した。

ア 受託件数	2件
イ 委託先	にしはりま環境事務組合、佐用町

3 フェニックス受託事業

大阪湾広域臨海環境整備センターが、大阪湾フェニックス事業として廃棄物の長期・安定的かつ広域的な最終処分事業を実施しているが、尼崎（平成元年度から）、播磨、津名（平成2年度から）、姫路（平成13年度から）の4基地で廃棄物受入業務を大阪湾広域臨海環境整備センターから受託し、受付計量・船舶投入・保管業務等を行っている。平成21年度の搬入量は、前年度と比較して減少している。

(1) 業務場所

業 務 場 所
フェニックス尼崎基地（尼崎市平左衛門町）
フェニックス播磨基地（播磨町新島）
フェニックス津名基地（淡路市津名町志筑新島）
フェニックス姫路基地（姫路市飾磨区今在家）

(2) 平成21年度廃棄物搬入状況

(単位：トン)

区 分	尼崎基地	播磨基地	津名基地	姫路基地	計
一般廃棄物	133,515	27,419	6,346	21,467	188,747
産業廃棄物	87,153	155,997	1,051	22,838	267,039

陸上残土	4,645	3,619	0	0	8,264
小計	225,313	187,035	7,397	44,305	464,050
尼崎沖処分場 (建設残土)	289,573	—	—	—	289,573
総計	514,886	187,035	7,397	44,305	753,623

#### 4 処分場事業

但馬地域での不法投棄の防止や余部道路整備事業・円山川災害対策事業から発生する大量の建設残土等の受入先として、但馬最終処分場において建設残土及び建設廃材等の受入を行っている。

余部道路整備事業・円山川災害対策事業については、平成21年度でほぼ終了するが、引き続き搬入残土等の確保による収入増と経費節減等に努めていく。

##### (1) 処分場の概要

・処分場の種類	安定型最終処分場
・所在地	兵庫県美方郡香美町香住区油良字ヨウロ
・処分場面積	約7ha
・受入容量	約91万m <sup>3</sup>
・事業期間	平成13～27年度（産業廃棄物処分業の許可期間）
・受入対象物	建設残土、建設廃材（がれき類）、ガラス・陶磁器くず
・受入対象区域	但馬地域3市2町

##### (2) 平成21年度の事業

###### ① 平成21年度廃棄物搬入状況

種類	基本料金 (円(税抜)／トン)	搬入量 (トン)	構成比 (%)
建設残土	1,500	12,960	5.0
建設廃材	3,600	2,254	0.9
高規格道路整備事業残土	1,200	136,699	53.3
円山川災害対策事業残土	1,000	104,639	40.8
計		256,552	100.0

###### ② 環境保全対策

当センターでは、環境保全対策を含む同処分場の運営を適切に行うとともに、平成21年7月及び平成22年2月、地元住民・香美町・関係行政機関が参加する第10回及び第11回環境保全連絡協議会が開催され、搬入状況、受入物の監視状況、水質調査結果等の報告及び同処分場の運営における環境保全対策について協議した。

別表1-1

## 分析測定件数

水質・土壌・産業廃棄物関係

項目	延件数	項目	延件数
カドミウム	1,410	D O	2,359
鉛	2,336	大腸菌群数	660
6価クロム	1,355	その他細菌類	126
ヒ素	1,455	全窒素	2,373
全水銀	1,546	その他窒素化合物	2,946
アルキル水銀	319	全リン	1,799
セレン	866	その他リン化合物	442
ホウ素	798	シマジン	814
その他の重金属類	7,521	チウラム	1,194
シアニド	1,107	チオベンカルブ	347
フッ素	1,011	その他の農薬	2,405
有機リン	310	電気伝導率	931
P C B	659	塩素量	512
トリクロロエチレン	554	濁度	705
テトラクロロエチレン	556	n-ヘキサン抽出物質	986
ジクロロメタン	805	クロロフィルa	506
四塩化炭素	620	蒸発残留物	52
1,2-ジクロロエタン	466	塩素イオン	1,339
1,1-ジクロロエチレン	487	強熱減量	191
シス-1,2-ジクロロエチレン	487	含水率	246
1,1,1-トリクロロエタン	486	ダイオキシン類	457
1,1,2-トリクロロエタン	470	環境ホルモン	200
1,3-ジクロロプロペン	434	クリプトスポリジウム	25
ベンゼン	769	メタンガス(温泉)	5
その他の揮発性有機化合物	330	その他	11,345
水素イオン濃度	3,937		
B O D	2,187		
C O D	3,361		
S S	3,013		
合計			72,620

別表1-2

## 分 析 測 定 件 数

水道水質検査関係

項 目	延件数	項 目	延件数
一 般 細 菌	2,530	ホルムアルデヒド	1,116
大 腸 菌	3,240	亜 鉛	610
カ ド ミ ウ ム	628	ア ル ミ ニ ウ ム	1,065
水 銀	721	鉄	893
セ レ ン	562	銅	625
鉛	725	ナ ト リ ウ ム	599
ヒ 素	663	マ ン ガ ン	828
六 価 ク ロ ム	644	塩 化 物 イ オ ン	2,521
シ ア ン	1,326	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	843
硝酸性窒素及亜硝酸性窒素	970	蒸 発 残 留 物	949
フ ッ 素	774	陰イオン界面活性剤	713
ホ ウ 素	708	ジ ェ オ ス ミ ン	1,076
四 塩 化 炭 素	597	2-メチルイソボルネオール	1,076
1,4- ジ オ キ サ ン	763	非イオン界面活性剤	938
1,1- ジ ク ロ ロ エ チ レ ン	103	フ ェ ノ ー ル 類	721
シス-1,2-ジクロロエチレン	1,111	T O C	2,505
ジ ク ロ ロ メ タ ン	577	水 素 イ オ ン 濃 度	2,568
テトラクロロエチレン	615	味	2,474
トリクロロエチレン	609	臭 気	2,567
ベ ン ゼ ン	588	色 度	2,583
ク ロ ロ 酢 酸	1,118	濁 度	2,586
ク ロ ロ ホ ル ム	1,022	過マンガン酸カリウム消費量	217
ジ ク ロ ロ 酢 酸	1,142	農 薬 類	10,864
ジブロモクロロメタン	1,019	クリプトスポリジウム	735
臭 素 酸	1,034	ダ イ オ キ シ ン 類	27
総トリハロメタン	1,019	嫌 気 性 芽 胞 菌	673
トリクロロ酢酸	1,118	従 属 栄 養 細 菌	364
ブ ロ モ ジ ク ロ ロ メ タ ン	1,019	ジ ア ル ジ ア	652
ブ ロ モ ホ ル ム	1,019	そ の 他	4,012
合 計			75,364

別表1-3

## 分析測定件数

生物相関係

項目	延件数	項目	延件数
プランクトン	65	付着生物	24
ベントス	32	その他	20
合計			141

別表1-4

## 分析測定件数

大気・悪臭関係

項目	延件数	項目	延件数
ばいじん量	142	浮遊粒子状物質	675
全いおう酸化物	75	二酸化いおう	7
窒素酸化物	203	二酸化窒素	14
塩化水素	93	風向・風速	22
アクリロニトリル	25	アンモニア	70
塩化ビニルモノマー	25	トリメチルアミン	33
クロロホルム	25	硫化水素	74
テトラクロロエチレン	25	メチルメルカプタン	59
トリクロロエチレン	25	硫化メチル	39
ベンゼン	63	二硫化メチル	39
ベンゾaピレン	13	アセトアルデヒド	49
ホルムアルデヒド	485	スチレン	485
トルエン	497	プロピオン酸	34
キシレン	491	ノルマル酪酸	34
1,2-ジクロロエタン	25	ノルマル吉草酸	34
ジクロロメタン	25	イソ吉草酸	34
1,3-ブタジエン	25	官能試験	41
水銀	13	アスベスト	1,109
ニッケル	151	ダイオキシン類(採取)	364
マンガン	181	ダイオキシン類(分析)	688
チアクロプリド	40	その他	6,373
合計			12,924

別表1-5

## 分析測定件数

作業環境関係

項目	延件数	項目	延件数
ふんじん量	1,630	アセトン	152
塩素	21	クロロホルム	38
シアン	38	n-ヘキサン	39
クロム酸	210	メチルエチルケトン	147
マンガン	12	硝酸	14
鉛	22	硫酸	14
カドミウム	12	塩酸	14
ジクロロメタン	46	ダイオキシン類	486
メタノール	140	その他	415
トルエン	307		
合計		合計	3,757

別表1-6

## 分析測定件数

騒音・振動関係

項目	延件数
騒音・振動関係	769



財団法人 ひょうご環境創造協会  
Hyogo Environmental Advancement Association

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3丁目1番31号

TEL 078-735-2737 FAX 078-735-2292

URL <http://www.eco-hyogo.jp>